

部局名	子ども部	所属名	母子保健課	所属長名	永井 成子	電 話	486-7250
-----	------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3186		事務事業名称		母子保健事業					短縮コード		経常	3186	臨時	3936			
予算区分		会計	01	一般会計		款	04	衛生費			項	01	保健衛生費			目	02	予防費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等		地域保健法・母子保健法・児童福祉法											
		☐ その他																	
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																			
昭和４０年に制定された母子保健法により妊婦・乳幼児に対する各種健康診査や保健指導など、母子保健対策の推進を図ってきた。平成６年に地域保健法が制定され、住民の身近な市町村において、母子保健の一貫したサービスの提供を図るため、健康診査、訪問指導の実施主体が都道府県から市町村に一元化された。これを受け、母子保健法が一部改正され、平成９年度から新たに妊産婦訪問・新生児訪問・３歳児健康診査などを開始。平成２１年度からは児童福祉法の一部を改正する法律の施行に伴い、乳児家庭全戸訪問事業と養育支援訪問事業が位置づけられ、事業者となった。体制的には平成１８年４月から子ども部創設を機に３課１センターによる連携を強化し、妊娠期から乳幼児期の切れ目のない子育て支援を行っている。																			
平成１６年３月に策定した健康まちづくりプラン推進のために食育・思春期保健・歯科保健の推進のため、それぞれ個別プロジェクトを作り取り組んでいる。２４年度末には第２次八千代市健康まちづくりプランが策定される予定となっている。																			
事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測						総 合 計 画 の 施 策 体 系	６本の柱（章）		01	第１章健康福祉都市をめざして									
少子化や核家族の進行、ひとり親家庭の増加、情報の氾濫や価値観の多様化、虐待の増加に伴い、母子を取り巻く環境は著しく変化している。特に養育支援が必要な家庭を早期に発見し、支援を開始する虐待の未然防止の活動及び発達障害の早期発見が求められている。また、子育てしやすいまちづくりの推進（環境整備）が課題である。							大項目（節）		01	第１節保健・医療									
							中　項　目		01	１．保健									
							小　項　目		01	(1)健康づくりの推進									
							細　項　目		02	②健康な暮らしの環境整備									
03	③子どもと子育て家庭の健康づくり																		
実　施　計　画　の 計　画　事　業																			
計画事業の位置付けの有無				☐	計　画　事　業　期　間		～			計　画　事　業　費		千円							

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	妊娠期から乳幼児期（学童期）の親と子										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ①妊婦乳幼児健康診査事業：妊婦・乳児・幼児健康診査，妊婦幼児歯科健康診査 ②妊娠出産子育て相談事業：母子健康手帳交付，母子保健推進員訪問（乳児家庭全戸訪問事業），4か月児・10か月児赤ちゃん広場，電話・来所相談，新生児訪問，妊婦・乳幼児家庭訪問 ③妊娠出産子育て学習事業：マタニティ講座，パパとママの子育て教室，保育園・幼稚園歯みがき教育 ④養育支援事業：要支援者の早期発見と継続支援（3歳児健診未受診者対応） ⑤第2次健康まちづくりプラン策定準備及び健康まちづくりプラン重点取り組み「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「八千代市歯科保健推進協議会」「やちよ食育ネットワーク協議会」の会議開催と活動の推進 ※平成24年度に計画していること： ①妊婦乳幼児健康診査事業：妊婦・乳児・幼児健康診査，妊婦幼児歯科健康診査 ②妊娠出産子育て相談事業：母子健康手帳交付，母子保健推進員訪問（乳児家庭全戸訪問事業），4か月児・10か月児赤ちゃん広場，電話・来所相談，新生児訪問，妊婦・乳幼児家庭訪問 ③妊娠出産子育て学習事業：プレママ教室，パパとママの子育て教室，保育園・幼稚園歯みがき教育 ④養育支援事業：要支援者の早期発見と継続支援 ⑤第2次健康まちづくりプラン策定及び健康まちづくりプランの重点取り組み「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「八千代市歯科保健推進協議会」「やちよ食育ネットワーク協議会」の会議開催と活動の推進										
意図 （何を狙っているのか）	子育て中の親が，育児の不安を軽減したり，自分の時間を持ったり，子育てを通じて地域社会とのつながりを持つことで，いきいきとした子育てができるようになり，子どもたちが心身ともに健やかな生活をおくることができる。										
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外										
区 分					単位	2 2 年度		2 3 年度		2 4 年度	
						実績		計画		実績	
対象指標	指標 1	妊娠届出数			人	1, 789		1, 900		1, 688	
	指標 2	4歳未満の乳幼児の数			人	9, 313		9, 500		7, 067	
	指標 3										
活動指標	指標 1	妊婦・乳幼児健康診査を受診した者の数			延べ数	32, 054		32, 100		30, 238	
	指標 2	妊娠出産子育ての相談を受けた者の数			延べ数	14, 732		14, 800		17, 540	
	指標 3	妊娠出産子育ての学習（教育）を受けた者の数			延べ数	3, 887		4, 000		2, 134	
成果指標	指標 1	1歳6か月児健康診査を受けて満足している保護者の割合			%			80		89. 2	
	指標 2	生後4か月までに順調に子育てしている保護者の割合			%	80. 6		81		84. 6	
	指標 3	4か月児赤ちゃん広場で育児不安が解消した保護者の割合			%	87. 6		90		0	
上位成果指標	指標 1										
	指標 2										
	指標 3										

コード	3186	事務事業名称	母子保健事業				所属名	母子保健課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			今後については、職員及び臨時的任用職員を含めて人員増を図りながら事業評価を行い,改革・改善しながら取り組んでいく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			母子保健事業は切れ目ない支援の充実を図るため、毎年細事業の評価を行い，質の向上を目指しているので成果は向上とした。しかし，近年，母子保健事業に虐待の未然防止や発達障害の早期発見が求められており，対象に対して複数回の支援が必要になっているため人員増（人件費）が必要である。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☒			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・妊娠期からの支援の充実が求められている。 ・幼児健康診査において，受診率の向上や継続支援の必要なケースへの支援・未受診者の対応が求められている。 ・虐待の未然防止及び発達障害の早期発見のための支援を行うにあたり，質の向上が求められている。									

所属長コメント	母子保健事業の推進については，地域子育て支援センターと連携して妊娠期から乳幼児期の切れ目のない支援を展開していくことが重要である。また，支援が必要な家庭を早期に発見し，虐待の未然防止の活動や発達障害の早期発見が求められており，対象に対して複数回の支援が必要になっている。 第2次健康まちづくりプラン策定準備及び健康まちづくりプラン重点取り組み「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「八千代市歯科保健推進協議会」「やちよ食育ネットワーク協議会」の会議開催と活動の推進をすることが重要である。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			健康まちづくりプランについては順次推進すること。また，費用対効果を検証したうえで，臨時的任用職員を活用し，養育支援の強化を図ること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									